

## 玉ねぎの定植作業が開始!



道内でも有数の玉ねぎ産地である富良野管内で、定植作業が始まった。一直線に並ぶ緑色の苗と土が鮮やかなコントラストのストライプ模様を描く。昨年は高温と干ばつの影響で小ぶりになっていたが、今年は雪解けが早く、安定した品質と収量が期待される。定植作業は4月中旬から5月中旬頃までを予定。

(写真提供：富良野土地改良区)

## CONTENTS

● 会員の負託に応えるため 技術援助などを重点に業務を遂行 令和8年度事業計画、予算等を承認 令和7年度通常総会 ..... ②	● 新監事の紹介 ..... ③
● 浜田氏ら個人40名を表彰 令和7年度土地改良事業功労表彰 ..... ④	● 農業農村整備事業の推進等を求める決議 ..... ③
● 山本氏らが全国水土里ネット会長表彰を受賞 全国土地改良功労者等表彰 農業農村整備優良地区コンクールで 芽室町・音更町が全国水土里ネット会長賞 ..... ⑥	● 本会人事 ..... ⑥
● 農地の大区画化による生産性向上を図る 「北海道大区画化等推進協議会」を設立 ..... ⑧	● 令和7年度農業農村整備優良地区コンクール 全国水土里ネット会長賞 南平和第2地区(芽室町・音更町)の取組 ..... ⑦
	● お知らせ「水路やため池で遊ばないでね！」 ..... ⑧
	● 本会業務執行体制および事務局 ..... ⑨
	● 北海道開発局農業水産部、 開発建設部(農業関係)幹部職員一覧 ..... ⑩
	● 道農政部、(総合)振興局産業振興部幹部職員一覧 ..... ⑫
	● 【PR】北海道ため池サポートセンター ..... ⑭

道民の財産、「水」「土」「里」を次代へ引き継ごう!

「水土里ネット北海道」は北海道土地改良事業団体連合会の愛称です

# 会員の負託に応えるため

## 技術援助などを重点に業務を遂行

令和8年度事業計画、予算等を承認

令和7年度通常総会



本会は3月24日、札幌市内のホテルで令和7年度通常総会を開いた。写真。議事では、8年度事業計画とこれに基づき43億6千万円の収支予算の設定、各事業の賦課基準など9件を原案どおり決めた。

また議事に先立ち、本道の土地改良事業の推進に顕著な功績等のあった浜田正利氏（前新得町長）ら40名の表彰を行った。

最後に「農業農村整備事業の計画的な推進に必要なPPP関連対策などを含めた予算総額の確保」など5項目の農業農村整備事業の推進等を求める決議を満場一致で採択した。

「責任ある積極財政が推進され、土地改良事業予算に反映されることを期待」菊地会長が挨拶で

総会の冒頭、挨拶に立った菊地博会長は、出席に対するお礼を述べた後、8年度の事業運営にあたり、農業農村整備事業をめぐる国費予算および新規事業について触れ、「総合経済対策と

して成立した7年度補正予算及び8年度当初予算は、昨年度を大きく上回る予算が措置された。また、補正予算においては、構造転換集中対策の目玉として、農業者自ら行う簡易整備などによって、1ヘクタール以上の大区画化整備の加速化を図る大区画化等加速化支援事業が創設された。本事業の実施に当たっては、道や関係機関などで構成する大区画化等推進協議会が設置され、本会は、この協議会の事務局として、事業推進に向けて積極的に取組んでいく」と述べた。

また、水田政策の抜本的な見直しとして、国では令和9年度から水田、畑にかかわらず、作物ごとの支援に転換することとしたことに触れ、「道やJA中央会などで構成する水田農業のあり方検討にかかる関係機関連絡会議に本会も参加し、道内の水田農業への影響や課題等を共有するとともに、現場の実情を踏まえた制度となるよう、必要な対策を国に求める」と述べた。

次いで、総会の席上で行われた土地改良事業功労者表彰では、多年にわたる本道の土地改良事業の推進と発展に顕著な功績のあった31名、優良職員9名を表彰した。

来賓挨拶では、北海道開発局の武井一郎農業水産部長、道農政部の磯嶋光世農村振興局長が挨拶に立ち、受賞者の労をねぎらったほか、本会事業の取

組と農業農村整備事業の円滑な推進、地域農業の振興・発展に期待を寄せた。

総会は、由仁土地改良区の飯田修久理事長を議長に選出し、技術援助・協力事業、土地改良負担金対策事業等の増額を必要とする7年度補正予算や、8年度の事業計画とこれに基づく43億6千万円の収入支出予算、各事業の賦課基準など議案9件を原案どおり承認した。

事業計画では、基本方針に「関係機関・団体との緊密な連携のもとで、会員に対する技術援助や国、道に対する技術協力、農業農村整備に精通した人材の確保・育成などを通じて、道内の農業農村整備事業の円滑な推進に努め、協同組織としての役割を果たしていくこと」を掲げ、①土地改良事業に関する技術的な指導その他の援助及び協力②同事業に関する教育及び情報の提供③同事業に関する調査研究④同事業関係の金融改善などを行うこととした。

このうち土地改良事業に関する技術的な指導その他の援助及び協力では、会員が行う土地改良事業に対する技術援助、及び国または道が行う土地改良事業等への技術協力を通じて農業農村整備事業の円滑かつ効率的な実施に寄与すること、土地改良施設の円滑かつ適切な管理の強化や、換地事務の適正かつ円滑な推進などに必要な会員支援



監事  
**岩谷 尚之**  
(空知土地改良区理事長)

3月24日に開催された本会通常総会で、監事1名の欠員に伴う補欠選任が行われ、空知管内の空知土地改良区理事長の岩谷尚之氏が選ばれ、同日付で就任した。

## 新監事の紹介

を行うこと、日本型直接支払の推進や農地の大区画化等加速化支援、農地等地図情報の運用支援を行うこととした。また、土地改良事業に関する教育及び情報の提供として、農業土木技術者の確保・育成の強化を図るための育成講座を開講するほか、土地改良事業関係の金融改善として、農家負担の軽減を図るための農家負担金軽減支援対策事業を着実に推進することとした。最後に、雨竜土地改良区の高田芳敬理事長が農業農村整備事業の推進等を求める決議文を朗読し、全5項目の決議を満場一致で採択。これらの実現に向けて国や道に対する要請活動を行うこととした。

## 農業農村整備事業の推進等を求める 決議

(原文縦書き)

北海道の農業・農村は、積雪寒冷な気象や特殊土壌など厳しい生産条件を、農業者のたゆまぬ努力と土地改良の積み重ねにより克服し、本道の社会・経済を支える基幹産業として発展を続け、安全・安心な食料の安定供給や国土の保全などに重要な役割を担ってきた。

一方で、近年、農村地域の高齢化や人口減少、自然災害の頻発・激甚化に加え、世界的な食料需給の変動、地球温暖化の進行など、我が国の食料・農業・農村を巡る情勢は大きく変化している。

こうした状況を踏まえ、国は、新たな食料・農業・農村基本計画に基づき、初動五年間で農業の構造転換を集中的に推し進めるとともに、国土強靱化実施中期計画に基づく農村地域の防災・減災対策を着実に進めていくこととしている。さらに、課題となっている水田政策については、国は令和九年度に抜本的な見直しを行うとしており、新たな政策が北海道の実情を踏まえたものになることを強く望まれている。

このような中、大規模で専門的な農業が展開され、新たな基本計画において我が国の主要穀物などの主産地として位置付けられている本道の農業・農村が引き続き発展し、国民への食料の安定供給に一層貢献していくためには、飛躍的な生産性の向上が期待できるスマート農業の推進や、高品質・高収益な作物の生産拡大、農村地域の防災・減災を進めていく必要があり、その礎となる農地の大区画化や排水改良、農業水利施設、農道の整備・保全などを進める農業農村整備事業の着実な推進が不可欠である。

よって、我々は、現下の農業・農村をめぐる状況を踏まえ、次の事項を総意として決議し、その実現が図られるよう強く国に要望する。

### 記

- 一、食料・農業・農村基本計画に基づき、初動五年間で農業の構造転換を集中的に推し進めるとともに、食料安全保障の強化や農村地域の国土強靱化に向けて、農業農村整備事業を計画的に推進できるよう、TPP関連対策などを含め予算総額を確保すること
- 一、新たな土地改良長期計画や国土強靱化実施中期計画などを踏まえ、国内農業の生産力・競争力の更なる強化や、農業・農村の防災・減災対策の着実な推進を図るため、関連する事業・支援制度の充実を図るとともに、市町村や農家の負担軽減を図ること
- 一、公共性・公益性を有する農業水利施設の適切な安全管理に向けて、ICT等を活用した管理の省力化・高度化等の取組を推進するなど、土地改良区の運営基盤の強化に資する支援制度の充実を図ること
- 一、水田政策の見直しにあたっては、地域の農業に大きな影響を及ぼす可能性があることから、本道の水田農業関係者への情報提供を丁寧に行うなどし、現場の実情を踏まえた制度となるよう検討すること
- 一、農地や水路、農道等の保全活動の適切な実施や、生産条件が不利な地域の農業生産活動が維持できるよう、多面的機能支払や中山間地域等直接支払制度の充実を図るとともに、必要な予算を確保すること

右決議する。

令和8年3月24日

北海道土地改良事業団体連合会 令和7年度通常総会

## 令和7年度土地改良事業功労表彰

# 浜田氏ら個人40名を表彰



特別功労表彰の受賞者

前列左から 大鷹氏（日高町長・日高門別土地改良区理事長）、浜田氏（前・新得町長）、菊地会長、徳永副会長、北村氏（神竜土地改良区理事長）、境谷氏（秩父別土地改良区理事長）、後列左から藤田専務、西保氏（前・帯広市土地改良区理事長）、佐藤氏（ながめま土地改良区 前・参事）、本間常務

3月24日に開催した本会通常総会の席上で、令和7年度土地改良事業功労者の表彰式を行い、特別功労表彰で6名、功労表彰で土地改良事業功労者25名、優良職員9名に、本会表彰規程に基づき、多年にわたり本道の土地改良事業の推進と発展に顕著な功績のあった方々に贈られるもので、本年度で特別功労表彰51回目、功労表彰は64回目を迎えた。

## 特別功労表彰（敬称略）

### 浜田 正利（前・新得町長）

（功績）平成17年に新得町長に就任し、以来、地域の基幹産業である農業の生産性の向上などに向けて、道営土地改良事業などを積極的に推進し、優れた識見と指導力・行動力によって各種課題を乗り越え、事業を遂行してきた功績は、関係者が広く認めるところである。また、町長在任中は、本会理事と本会十勝支部長を務めるなど、地域農業はもとより全道的な見地から農業・農村の振興発展に大きく貢献した。

### 大鷹 千秋（日高町長・日高門別土地改良区理事長）

（功績）平成30年に日高町長、日高門別土地改良区理事長に就任し、以来、道営土地改良事業などを積極的に推進し、優れた識見と指導力・行動力によって各種課題を乗り越え、事業を遂行してきた功績は、関係者が広く認めるところである。また、同年から本会理事、本会日高支部長を務めるなど、地域農業はもとより全道的な見地から農業・農村の振興発展に大きく貢献している。

### 北村 薫（神竜土地改良区理事長）

（功績）平成30年に神竜土地改良区理事長に就任し、以来、国営かんがい排水事業をはじめ、道営土地改良事業な

どを積極的に推進し、優れた識見と指導力・行動力によって各種課題を乗り越え、事業を遂行してきた功績は、関係者が広く認めるところである。また、平成3年から本会空知支部理事、令和5年から3年間、北空知土地改良区運営協議会会長を務めるなど、空知管内の土地改良区の運営基盤の強化を図るとともに、地域農業・農村の振興発展に大きく貢献している。

### 境谷 博之（秩父別土地改良区理事長）

（功績）平成30年に秩父別土地改良区理事長に就任し、以来、国営総合農地防災事業をはじめ、道営土地改良事業などを積極的に推進し、優れた識見と指導力・行動力によって各種課題を乗り越え、事業を遂行してきた功績は、関係者が広く認めるところである。また、令和4年から3年間、全国国営総合農地防災・直轄地すべり対策事業促進協議会会長、令和5年からは本会空知支部理事を務め、道内のみならず全国の農業団体と連携を取り合い、農業・農村の振興発展に大きく貢献している。

### 西保 明裕（前・帯広市土地改良区理事長）

（功績）令和3年に帯広市土地改良区理事長に就任し、以来、国営かんがい排水事業をはじめ、道営土地改良事業などを積極的に推進し、優れた識見と指導力・行動力によって各種課題を乗

り越え、事業を遂行してきた功績は、関係者が広く認めるところである。また、理事長在任中は、本会理事、本会十勝支部副支部長を務めるなど、地域農業はもとより全道的な見地から農業・農村の振興発展に大きく貢献した。

**佐藤 健次**（ながま土地改良区前・参事）

（功績）平成4年にながま土地改良区に奉職し、以来、職務に精勤。令和4年から同区参事として、土地改良区の健全な運営や各種農業農村整備事業の円滑な推進、組合員の経営安定に努めてきた功績は、関係者が広く認めるところである。また、令和4年から令和7年まで本会空知支部事務局長を務めるなど、空知管内における農業農村整備事業の推進に大きく貢献した。



土地改良事業功労者25名を代表して篠津中央土地改良区理事長の茂手木利明氏が登壇。菊地会長から表彰状が手渡された。



優良職員9名を代表して新えべつ土地改良区参事の村上洋平氏が登壇。菊地会長から表彰状が手渡された。

**功労表彰**（敬称略）

◆土地改良事業功労者（25名）

- ▽茂手木利明（篠津中央土地改良区理事長）
- ▽西脇雅彦（篠津中央土地改良区副理事長兼会計担当理事）
- ▽岡崎繁章（篠津中央土地改良区理事）
- ▽鈴木敏昭（篠津中央土地改良区総括監事）
- ▽平岡日出男（恵庭土地改良区理事）
- ▽小寺雄一（恵庭土地改良区総括監事）
- ▽三上守親（ながま土地改良区理事（建設委員長））
- ▽水岡忍（ながま土地改良区総括監事）
- ▽藤原賀津雄（秩父別土地改良区副理事長）
- ▽有馬勇（秩父別土地改良区副理事長）

◆優良職員（9名）

- ▽村上洋平（新えべつ土地改良区参事）
- ▽見上健太郎（当別土地改良区総務部管理課長）
- ▽三嶋友希（深川土地改良区施設課長）
- ▽高柳郊士（秩父別土地改良区維持管理課長補佐）
- ▽前川英毅（秩父別土地改良区土地改良課主幹）
- ▽速見太一（秩父別土地改良区総務課主幹）
- ▽佐藤宣彦（神竜土地改良区施設部長）
- ▽長谷川和也（神竜土地改良区施設課長）
- ▽輪島明典（富良野土地改良区工務部整備課整備第2係長）

- 改良区上席理事）
- ▽熊谷勝（秩父別土地改良区会計担当理事）
- ▽谷本徹（北竜土地改良区理事）
- ▽棟方英樹（前・富良野土地改良区理事）
- ▽本間敏仁（前・富良野土地改良区理事）
- ▽坂井英樹（前・東和土地改良区理事）
- ▽山中伸幸（前・東和土地改良区監事）
- ▽池澤弘道（当麻土地改良区副理事）
- ▽桶矢育伸（蘭越土地改良区代表監事）
- ▽大嶋貢（知内土地改良区理事長職務代理）
- ▽畑山進（上磯土地改良区理事）
- ▽佐々木勝利（上磯土地改良区総括監事）
- ▽望月英彦（前・中春別農業協同組合代表理事組合長）
- ▽樫尾英司（前・北見土地改良区副理事長）
- ▽黒須正幸（前・北見土地改良区総括監事）
- ▽金子哲也（オロロン土地改良区総括監事）

**本会等の主要行事予定**

- 5月26日（火）
  - ・第1回理事会
  - ・農業農村整備推進委員会
- 6月2日（火）～3日（水）
  - ・中央要請
- 6月15日（月）
  - ・農業農村整備の集い
- 7月1日（水）
  - ・支部事務局長会議
- 7月14日（火）
  - ・第1回総務金融委員会
- 7月27日（月）
  - ・第2回理事会
- 8月28日（金）
  - ・令和8年度臨時総会
- 9月中旬
  - ・第1回土地改良区委員会
- 10月26日（月）
  - ・農業農村整備の集い
- 11月17日（火）
  - ・第48回全国土地改良大会

※日程等は変更になる場合があります。  
※正式文書は別途送付します。

# 全国土地改良功労者等表彰

## 山本氏らが全国水土里ネット会長表彰を受賞

農業農村整備優良地区コンクールで

芽室町・音更町が全国水土里ネット会長賞

全国土地改良事業団体連合会は3月25日、全国土地改良功労者、農業農村整備優良地区コンクールの表彰式を東京都内で開いた。農林水産省の鈴木憲和大臣、根本幸典、山下雄平両副大臣、広瀬建大臣政務官をはじめ松本平農村振興局長ら幹部が臨席し、全国から出席した多数の関係者が見守る中、本道からは、留辺薬土地改良区と山本宏氏ら5名が全土連会長表彰を受賞。また、農業農村整備優良地区コンクールでは芽室町・音更町が全国水土里ネット会長賞を受賞した。

等直接支払交付金制度の充実について触れ、「条件不利地には手厚い政策で支援を行い、食料安定供給への責任を一緒に果たしていきたい」と協力を呼びかけた。

続いて、進藤金日子参議院議員（全国水土里ネット会長会議顧問）が祝辞を述べたのち、食料・農業・農村基本計画の策定や農業構造転換集中対策について触れ、「昨年、土地改良長期計画が閣議決定され、大区画化を進め、中山間地域の特性に応じた整備を行い、生産性を向上させる取組を土地改良が先導していかねければならない」と決意を述べた。

冒頭、全土連の二階俊博会長は式辞の中で、各受賞者に向けて「受賞された皆様の永年の献身的なご努力に敬意を表するとともに、今後とも引き続き、それぞれのお立場で土地改良事業の推進と地域農業の振興にご尽力いただきたい」と賛辞を贈った。

次に、鈴木農林水産大臣が祝辞の中で、受賞者の土地改良区運営への貢献と、農業農村整備事業への尽力にお礼を述べたのち、水田政策の見直しや中山間

本道関係の受賞は次のとおり。

### 全国土地改良功労者等表彰

〔全土連会長表彰〕

◆団体表彰

留辺薬土地改良区（坂下忠理事長）

◆個人表彰（敬称略）

山本宏（新えべつ土地改良区理事長）

佐々木辰善（大雪土地改良区理事長）

稲見浩一（幌加内土地改良区理事長）

永田哲也（北海土地改良区参事）

中嶋一隆（深川土地改良区参事）

農業農村整備優良地区コンクール

□農業振興部門

〔全国水土里ネット会長賞〕

芽室町・音更町 南平和第2地区

（道営農業競争力強化農地整備事業）



全土連会長表彰を受賞した新えべつ土地改良区の山本宏理事長に、二階会長から表彰状が手渡された。



全土連会長表彰受賞者（左から佐々木理事長、稲見理事長、永田参事、中嶋参事）

## 本会人事

◇4月1日付（新規採用発令）

- ▽技術部地域支援課指導役 澤田孝二
- ▽事業部道央事務所指導役 橋本和義

◇3月31日付（退職発令）

- ▽北野昭（事業部道央事務所）
- ▽三好崇司（事業部事業管理課）
- ▽岩戸佑介（事業部道央事務所）
- ▽沼沢慎也（事業部オホーツク事務所）

# 区画整理や排水改良で輪作作物の導入が加速 高収益作物の安定生産と経営規模拡大を実現

## 南平和第2地区(芽室町・音更町)の取組

### 1. 事業概要

団体名	芽室町・音更町
表彰地区名	南平和第2地区
事業名	道営農業競争力強化基盤整備事業 〔畑地帯総合整備事業〕
工期	平成23年度～平成30年度
受益面積	838.9ha
受益戸数	43戸
標準区画規模	事業実施前 392a → 完了後 392a
1ha以上の区画合計面積	事業実施前 838.9ha → 完了後 838.9ha (100%)
主要工事	畑地かんがい、区画整理(整地、暗渠、客土)、暗渠排水、客土、除礫



北海道 芽室町

### 2. 地区の概要と農業状況

#### ～小麦、豆類などの基幹作物に加え、スイートコーンやながいもを導入～

北海道の中央部にある日高山脈の東、十勝平野の西に位置する芽室町では、基幹作物である小麦、豆類、てんさい、ばれいしょの畑作4品に加え、スイートコーンなどの高収益作物の導入が進み、現在は大規模な畑作経営が展開されている。

しかし芽室町と一部の音更町を含む南平和第2地区では、ほ場の一部に排水不良や不整形・急傾斜など不利な条件を抱え、機械作業による効率化が進まなかった。また強風による風食被害や、年間降水量が少ないことによる生育障害も課題であった。

そこで平成23年度から30年度まで農業競争力強化基盤整備事業を実施。農地の勾配修正や暗渠排水工、土層改良を行い、畑地かんがい施設も整備を行った。これにより大型機械の導入が推進され、リールマシンを用いた適期散水も可能となったことで、農産物の品質向上と安定生産、単収の向上につながった。

事業実施後は、本地区でもスイートコーンやながいもなど輪作作物の導入が進み、基幹作物の畑作4品と合わせて安定的な生産体系を確立している。なかでもスイートコーンは、令和7年の日本農業賞において地域の生産組合が優秀賞を受賞するなど、品質面で高い評価を受けている。

事業を契機に、高付加価値化や販路拡大にも力を入れている。本地区で複数の品種を栽培するスイートコーンは、JAが立ち上げた「十勝めむろ」ブランドとして全国に広く流通。また都市部の生活協同組合や量販店との連携を強化し、芽室町産のスイートコーンや大豆などを使用した冷凍加工食品の供給を通じて、首都圏を中心とした販路拡大に取り組んでいる。



畑地かんがい(リールマシン散水)

### 3. 産地収益力の向上と将来の展望

#### ～担い手への農地集積・集約を加速し、経営耕地面積20ha以上が8割超に～

事業実施により農作業が効率化されたことで、本地区の生産体制に余力が生まれた。そこで作付面積の拡大に向けてスマート農業を積極導入し、生産コスト削減に取り組んでいる。自動操舵トラクターや可変施肥機、ドローンによる防除、クラウド型農業支援システムなど、多様なスマート技術を活用し、機械の稼働率や運用コストの改善を図っている。

近年は芽室町においても、高齢化による担い手不足や労働力減少が懸念されている。そこで町、農業委員会、JAなどが連携しながら、担い手への農地集積・集約化を推進。その結果、経営耕地面積が20ha以上の担い手の割合が80%を超え、北海道平均の約50%を大きく上回る高い水準を達成している。

今後は6次産業化や輸出にも取り組み、地域農業の持続的発展を目指す。



JAめむろブランド「十勝めむろ」

# 農地の大区画化による生産性向上を図る 「北海道大区画化等推進協議会」を設立

農地の大区画化による生産性向上を目的とする「北海道大区画化等推進協議会」の設立総会が3月18日、本会議室で開催された。総会では、協議会の規約や事業計画、役員体制などを決め、会長に本会の藤田一専務を選任し、事務局を本会事務所内に設置した。



北海道大区画化等推進協議会総会

総会に先立ち藤田専務が挨拶に立ち、「大区画化等加速化支援事業は、農地の区画拡大を要件として、従来の耕作条件改善事業と同様の定額メニューが、農家1戸から実施できることに加え、1ha以上の区画にした場合の助成単価が引き上げられるなど、より使い勝手が良い事業」と説明。そのう

えて、「事業実施団体への交付事務や技術的指導、申請書類の作成支援を行う本協議会を設立し、道、道農業公社、道農業法人協会と本会が連携して、きめ細かな情報収集・情報発信を行い、道営事業など大規模な基盤整備の実施が難しい地域等への整備に対する支援に繋げたい」と述べ、協力を求めた。

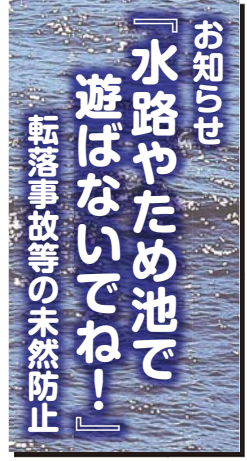
総会では、協議会の主な業務として、「事業の審査・採択」「交付事務」「技術的支援」「国への申請・報告」などを規定した規約を承認。初年度は、4団体でスタートし、今後は本事業が実施される市町村をはじめ関係団体の参画を予定する。

令和8年度の事業計画では、道内2地区で事業を実施。対象は、初山別共成地区（初山別村）と北石狩地区（石狩市、当別町）で、区画拡大、暗渠排水と湧水処理を含む整備を進める。

本事業は、農業構造転換集中対策期間である、令和11年度までの時限措置。会長以外の役員体制は次のとおり

- （副会長）
- ▽岸田隆志（北海道農政部農地整備課長）
- ▽鍛冶瑠美子（北海道農業法人協会事務局長）

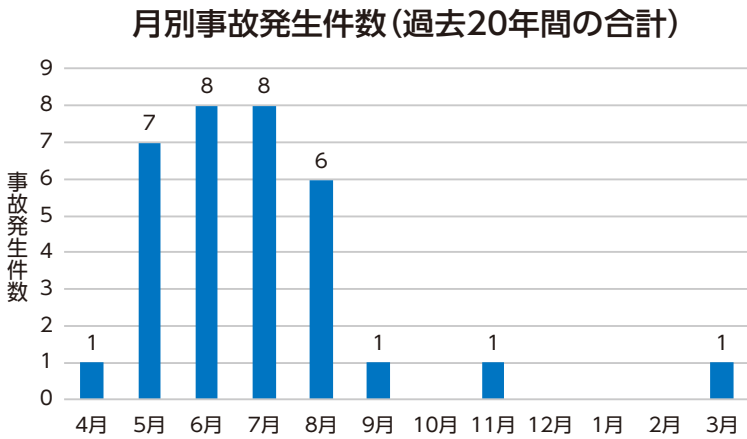
務局長）  
（監事）  
▽上田雅浩（北海道農業公社農用地部長）



本道では、5月初旬から各地で水田への通水が始まり、農業用水路等の水量が増え、流れも速くなります。そしてこの時期から、特に子供たちやお年寄りの用水路等への転落など農業用排水施設での事故への注意喚起が必要となります。

近年は、徐々に安全施設の整備が進んでおりますが、道内では直近20年間で30件以上の事故が発生しており、地域ぐるみの事故防止活動が不可欠です。今年もかんがい時期を迎えましたが、農業用水路などを管理する土地改良区等におかれましては、施設の安全対策、点検整備のほか、地域住民、町内会、学校、幼稚園等と連携を密にして、一層の注意喚起を図り、事故の未然防止に万全の対策をお願いいたします。

本会においても、事故の未然防止の一助となるよう、安全対策の一環として、事故防止を呼びかけるポスター、ノートなどを関係機関・団体に斡旋し

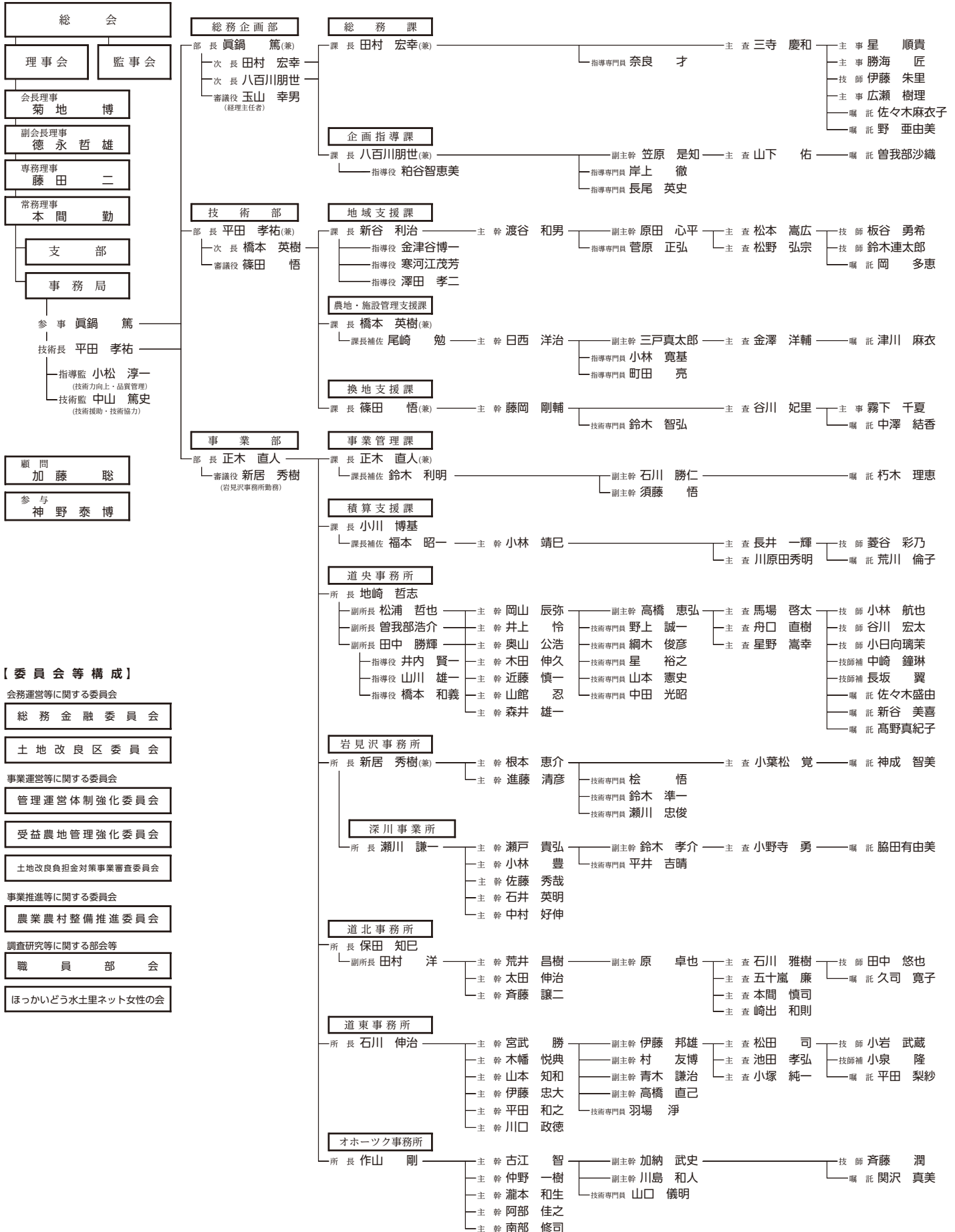


ており、加えて、万が一発生した事故や傷害に対処するための保険加入業務などに取組んでいますので、ご活用ください。

# 令和8年度業務執行体制および事務局

北海道土地改良事業団体連合会

令和8年4月1日現在



## 【委員会等構成】

- 会務運営等に関する委員会
- 総務金融委員会
- 土地改良区委員会
- 事業運営等に関する委員会
- 管理運営体制強化委員会
- 受益農地管理強化委員会
- 土地改良負担金対策事業審査委員会
- 事業推進等に関する委員会
- 農業農村整備推進委員会
- 調査研究等に関する部会等
- 職員部会
- ほっかいどう水土里ネット女性の会

正職員	嘱託職員	臨時職員	合計
106	43	0	149

※ 積算支援課は道央事務所に置く

# 北海道開発局農業水産部組織図

令和8年4月1日現在

農業水産部長 武井 一郎 5501

調整官 濱口 大志 5502

農業計画課長  
高久 俊宏 5511

課長補佐 古木 崇史 5512

総務係長 森田 真代 5510  
計画予算係長 大成 梨夏子 5525

事業計画推進官  
佐々木 信也 5513

事業計画推進係長 作井 祐介 5515

負担対策専門官 前畑 宏樹 2068

課長補佐 大野 隆 5514

計画第1係長 安達 拓矢 5522  
保全計画係長 三浦 聖 5686

農業施設管理官  
木藤 真志 5533

開発専門官 高木 圭介 5443

管理技術専門官 横木 淳一 5524

管理専門官 柴田 誠 5517

管理専門官 成田 伸枝 5495

土地改良管理室長  
長谷川 寿 5516

管理指導係長 菊池 雄太 5521  
施設管理係長 鈴木 若菜 5523  
管理技術係長 伊藤 誠 5528  
償還業務係長 丸藤 美貴子 5520

農業調査課長  
坂田 剛彦 5531

課長補佐 藤井 俊明 5532

企画係長 加藤 拓 5530  
専門官 山本 恵 5804  
農用地第1係長 田籠 幸大 5542  
農用地第2係長 田中 克和 5538

事業調査官  
高井 直人 5581

課長補佐 谷江 大輔 5575

課長補佐 工藤 幸大 5536

土地改良第1係長 白鳥 充樹 5537  
土地改良第2係長 成田 朋史 5535  
環境調査係長 佐々木 祐一 5539

開発専門官 玉木 健二 5950

開発専門官 岡村 充博 5540

事業調査専門官 岩渕 雄大 5574

農業調整専門官 白木 彰 5583

農業設計課長  
岡本 裕也 5551

課長補佐 竹花 聖生 5558

上席専門官 篠尾 朋子 5550

課長補佐 及川 博明 5764

課長補佐 佐藤 禎示 5554

水利調整係長 野中 一瞳 5409  
施工技術第1係長 森川 真彦 5563  
施工技術第2係長 小泉 政和 5557

農業企画官  
木内 正彦 5552

開発専門官 百々 宏晶 5556

情報化施工推進専門官 今西 智幸 5799

土地改良技術専門官 田村 健児 5561

利水・洪水調節専門官 星崎 友宏 5559

農業振興対策官  
西山 弘昭 5555

企画係長 目黒 綾 5560

農業整備課長  
伊藤 久司 5571

課長補佐 長野 浩治 5854

課長補佐 猪口 恵助 5573

課長補佐 岩田 徳雄 5572

工事予算係長 山下 朋美 5570  
企画係長 飯山 智弘 5577  
水利第1係長 久保 歩 5576  
水利第2係長 畑中 雅敏 5588  
災害係長 井上 和也 5943

農業振興課長  
松岡 宗太郎 5681

課長補佐 三上 裕史 5682

課長補佐 清水 拓郎 5589

課長補佐 中津 敬太 5683

調整係長 伊藤 充 5805  
企画係長 大西 芳明 5585  
農地整備第1係長 新津 剛 5587  
農地整備第2係長 佐藤 貴彦 5586  
農村地域振興第1係長 小山 真紀子 5806  
農村地域振興第2係長 渡辺 浩孝 5680

# 開発建設部（農業関係）幹部職員一覧

令和8年4月1日

札幌	函館	小樽	旭川	室蘭	釧路	帯広	網走	留萌	稚内
部長 平山 大輔	部長 赤川 裕志	部長 山本 清二	部長 佐々木 悟	部長 山田 拓也	部長 村上 睦	部長 齋藤 大作	部長 佐藤 善文	部長 財津 知亨	部長 北原 政宏
次長 (農業) 本山 憲司	次長 (港湾・農水) 山下 香	次長 (港湾・農水) 早川 篤	次長 (農業) 泰 哲	次長 (港湾・農水) 佐々木 洋介	次長 (港湾・農水) 吉田 明	次長 (農業) 根田 聖児	次長 (港湾・農水) 根城 健介	次長 (港湾・農水) 岩田 真	次長 (港湾・農水) 高橋 周平
調査官 (公物) 椿 知宏	調査官 星 成彦	調査官 長瀬 隆之	調査官 山内 隆二	調査官 齋藤 整	調査官 中田 智英	調査官 木曾 文宏	調査官 池田 敬	調査官 五十嵐 輝	調査官 長尾 敦史
調査官 (用地) 久保 裕樹									
技術管理官 (農業) 正野 俊晃	技術管理官 佐藤 智	技術管理官 坂井 豪紀	技術管理官 三浦 剛志	技術管理官 片岡 敏行	技術管理官 時田 恵生	技術管理官 木下 誠一	技術管理官 光成 真也	技術管理官 泉 孝治	技術管理官 武田 祐輔
	農業開発課長 濱下 尚志	農業開発課長 岩瀬 直人		農業開発課長 高野 雅弘	農業開発課長 布 貴史			農業開発課長 上田 美樹男	農業開発課長 樋口 飛鳥
農業計画課長 茂木 幸司			農業計画課長 本間 聡			農業計画課長 鈴木 俊弘	農業計画課長 中村 晃司		
農業整備課長 下川 昇大			農業整備課長 永田 晋一郎			農業整備課長 山本 泰史	農業整備課長 下川 佑太		
					農業環境 保全対策官 横山 幸彦				
土地改良 情報対策官 五十嵐 和志	土地改良 情報対策官 馬島 修	土地改良 情報対策官 西田 真弓	土地改良 情報対策官 小檜山 雅之	土地改良 情報対策官 今津 高春	土地改良 情報対策官 齋藤 千秋	土地改良 情報対策官 酒井 二央	土地改良 情報対策官 堀米 聡	土地改良 情報対策官 栗田 啓太郎	土地改良 情報対策官 内田 裕希
岩見沢農業 事務所長 疋田 雅秀	函館農業 事務所長 石水 直雄		旭川農業 事務所長 中川 裕紀	胆振農業 事務所長 渡辺 秀博	釧路農業 事務所長 高橋 孝広	帯広農業 事務所長 三崎 仁	北見農業 事務所長 立石 信次		稚内農業 事務所長 佐々木 紀映
札幌北農業 事務所長 齋藤 寿志					根室農業 事務所長 前田 昌則		網走農業 事務所長 新田 康二		
深川農業 事務所長 山下 和俊									
札幌南農業 事務所長 石岡 浩一									
夕張川ダム 総合管理事務所長 田中 和浩									
		後志中部農業 開発事業所長 石谷 直也	名寄農業 開発事業所長 太田 孝行			鹿追地域農業 開発事業所長 田岡 和博		天塩地域農業 開発事業所長 篠原 嘉興	
			富良野地域農業 開発事業所長 大原 隆志						



# 令和8年度 総合振興局・振興局産業振興部幹部職員一覧

(令和8年4月1日現在)

振興局名 防災電話	空知 6-450	石狩 6-210	後志 6-350	胆振 6-750	日高 6-610	渡島 6-250	檜山 6-310	上川 6-550	留萌 6-410	宗谷 6-510	オホーツク 6-650	十勝 6-850	釧路 6-710	根室 6-810
局長	鷲尾 亨 2000	北山 雄彦 34-011	瀧川 雅晴 2000	牧野 充 2000	加納 剛 2000	本田 晃 2000	竹本 広幸 2000	嶋田 貴洋 2000	川畑 千 2000	西岡 孝一郎 2000	大浦 正和 2000	鈴木 泰代 2000	寺田 宏 2000	清水 京弘 2000
副局長	三條 肇 2010	猪股 由起 34-012	古明地 恵一 2010	稲場 勝敏 2010	森越 誠 2010	名苗 拓央 2010	阿保 恵一 2010	小笠原 昭二 2010	本間 治 2010	小本 幸治 2010	川上 祐之 2010	菅野 剛彦 2010	東 貴弘 2010	野村 具弘 2010
産業振興部長	上山 賢一 2030	濱田 敬一 34-014	鈴江 信幸 2030	村上 浩 2030	福土 泰史 2030	中野 薫 2030	田中 伸彦 2030	今井 慎 2030	渋谷 和司 2030	寅尾 昌史 2030	豊口 亨志 2030	森山 桂一 2030	高尾 光 2030	千代谷 京 2030
地域産業担当部長	菅井 美恵子 2060	太田 逸平 34-018	伊藤 秀和 2060	新田 聡志 2060	富成 努 2060	柳川 親久 2060	千葉 真一郎 2060	福田 勝志 2060	片桐 俊英 2060	大方 緒憲 2060	河原 映 2060	熊澤 武 2060	泉 善友 2060	加藤 安尚 2060
農務課長	福井 宏次 2700	千葉 貴行 34-701	田中 啓之 2700	古屋 幸生 2700	茂野 政彦 2700	稲葉 亮太 2700	澤井 亨欣 2700	森 光治 2700	津川 邦義 2700	谷 公平 2700	塚田 康貴 2700	片山 誠 2700	神林 浩之 2700	朝川 徳昭 2700
主幹	盛 文子 2702	山本 健彦 34-702		千葉 義幸 2702				行天 真人 2702			駒井 敦 2703	千葉 邦博 2702		奈良 匡巳 2717
農政係長	清水 政安 2711	三浦 美枝子 34-711	上野 雅和 2712	土田 学 2711	平山 綾香 2711	佐藤 晃 2711	中川 政安 2711	齊藤 優子 2711	藤田 賢司 2711	橋部 和彦 2711	石川 直樹 2712	福澤 理沙 2711	山澤 知香 2711	御幸 祐志 2711
企画係長 主査(企画)	神 翔 2714		西 雄輝 2715	野澤 朱里 2714		佐々木 篤子 2715	下瀬 亨 2715	杉本 昌隆 2713	佐藤 将太 2715		近藤 知子 2714	上野 陽花 2714		
農業経営係長 主査(農地)	(盛 文子) 2735	石岡 大輔 34-721	品田 恵人 2721	(千葉 義幸) 2717	庄司 淳 2717	井口 文雄 2717	北田 遊亀 2717	門木 拓実 2717	松阪 勝利 2702	安部 俊 2717	(駒井 敦) 2717	黒柳 博之 2717	横道 直人 2718	(奈良 匡巳)
主査(馬産振興) 主査(防疫)		日下 まゆみ 34-723	富原 睦 2721			古川 貴之 2721		山本 修 2721						
生産振興係長	山本 健太郎 2727	高橋 駆 34-733	佐藤 さおり 2727	佐々木 峻 2727	畠山 尚久 4129	後藤 佳明 2727	川田 仁美 2727		平山 洋輔 2727	中村 倫大 4129			飯山 和彦 2727	佐藤 芳弘 2727
農産係長								橋口 悠貴 2725			梶澤 貴大 2717	吉田 直弘 2724		
畜産係長 主査(畜産)				海老子 直美 2729				千田 真輝 2727			岩山 良太 2728	吉田 裕紀 2727		

斜字は調整幹

調整課長	橋本 大 2800	浅沼 博明 34-751						国谷 崇 2800			大谷 元也 2800	新名 政安 2800		
農村振興課長			安本 庸平 2800	菅原 誠二 2800	森井 大輔 2800	相場 一文 2800	平沢 俊 2800		藤島 安和 2800	山 幸博 2800			隈部 篤興 2800	永森 孝史 2800
主幹 (事業企画)	熊倉 隆吉 2810	鈴木 太 34-752						中澤 正 2810			小杉 義直 2810	松本 貴之 2810		
主幹 (用地調整)	石井 敏 2820							佐藤 豪 2820			澤口 優二 2820	寺田 勝司 2820		
主幹 (企画調整)			渡邊 貴史 2805	鈴木 博之 2805	松井 繁雄 2805	石川 達也 2805	山縣 敏和 2805		伊藤 尚 2805	金井 貴志 2805			前田 一彦 2810	高岡 義一 2810
主幹 (基盤整備)			新崎 暢 2910	橋本 文孝 2910	山口 通 2910	小林 義宗 2910	高橋 一也 2910		海野 敬記 2910	渡邊 直哉 2910			坪 真 2910	川邊 雅穂 2910
用地専門員		今野 真章 34-753	瀧村 孝行 2801	田中 敬英 2801	佐古 浩 2801	細川 敬 2801	本田 式洋 2801		笹尾 章 2801	加藤 良孝 2801			穴戸 勝美 2801	古谷 洋介 2801
調整係長	土野 早苗 2811	佐藤 隆志 34-761	齊藤 智幸 2811	市川 義明 2811	藤内 雄大 2811	佐藤 慶範 2811	井上 輝 2811	木村 吉孝 2877	田中 真高 2811	橋本 誠也 2811	吉田 千春 2811	泉谷 仁 2811	小林 俊正 2811	戸塚 歩 2811
主査(調整)	山下 康平 2877	森越 朋香 34-763						坂田 佳奈 2811			倉田 嘉 2877	多田 恭三 2877		
指導企画係長	松島 広和 2892	菅原 邦彦 34-764	高橋 一貴 2814	及川 優也 2814	村上 智彦 2814	長田 健志 2814	(本田 式洋) 2814	藤山 雄介 2814	井上 祥太郎 2814	(加藤 良孝) 2814	小西 豊幸 2814	吉田 史志 2814	平山 広隆 2814	(古谷 洋介)
主査(農村振興)	今井 洋邦 2831	杉山 羊一 34-773	田井 昭吉 2831	松倉 美和 2831	小林 幸司 2831	佐藤 文彦 2831	加藤 浩伸 2831	外崎 明夫 2882	長沼 秀幸 2831	中川 竜一郎 2831	横山 智克 2884	石川 浩造 2881	沼田 達朗 2831	佐藤 慎吾 2831
地域計画係長	向 洋二朗 2867	山科 彰則 34-771	福田 拓也 2868	萬 晃彦 2867	森 隆徳 2867	丹羽 倫太良 2867	岡部 憲吾 2867	小野 文幸 2867	佐々木 泰崇 2867	口岩 琢哉 2867	久保田 利之 2867	青木 力 2867	神田 直樹 2867	瀧澤 泰文 2867
主査(地域計画)	笹谷 昌史 2881	長谷川 楓一 34-772	森川 和幸 2881			今田 麻美 2881		数中 浩二 2883			(欠員)	廣澤 征実 2884	今野 歩 2882	
主査(地域計画)		佐藤 健一 34-771						三上 智之 2884			(欠員)	青木 亮彦 2831		
主査(新技術)	總越 実 2882													
事業用地係長	坂本 純悟 2817	佐竹 徹 34-775						田中 一茂 2817			高橋 博幸 2817	島 亮 2819		
主査(用地)	柴重 洋明 2874										佐藤 正樹 2874			
換地係長	星 雅裕 2864							鈴木 舞 2864						

整備課長	小山 幸人 2900	小関 賢裕 34-801						廣澤 清美 2900			國枝 裕司 2900	谷崎 謙 2900		
主幹	白木 聡 2910	佐藤 一夫 34-802						安部 智宣 2910			津端 公貴 2910	鈴木 国彦 2910		
検査専門員	石原 和幸 2901	梶野 創吉 34-803	町田 圭 2802	草野 恭文 2901	野平 佳伸 2901	平木 将由 2901	森 孝之 2901	長谷川 隆一 2901	橋口 敬仁 2901	日置 強 2901	西保 和美 2901	上川 利彦 2901	角岡 茂久 2901	須田 敦 2901
	伊藤 裕一 2902							加藤 好隆 2902			伊藤 光昭 2902	片山 直一 2902		
設計係長	橋本 俊二 2911	黒川 功二 34-811						木山 慎太郎 2911			遠藤 拓也 2911	河端 亮一 2911		
主査(設計)	小川 智陽 2937	高橋 佐知子 34-811	竹林 秀晃 2937	高橋 勇 2937	野中 康次 2937	岡崎 匡紀 2937	藤野 雅俊 2937	川崎 和彦 2937	渥美 和哉 2937	江崎 哲至 2937	関谷 徳光 2937	内海 博孝 2937	福島 聡 2937	阿部 智哉 2937
農地整備係長 主査(農地整備)	西尾 真 2918	佐藤 幸司 34-814	早川 尚 2917	相場 康輝 2917	中田 健亮 2917	櫻木 宏明 2917	角井 秀光 2917	山根 隆志 2917	高橋 卓也 2917		中島 光 2917	千葉 貴統詞 2918		
	広井 純 2924													
農村整備係長 主査(農村整備)	竹内 英二 2921	青嶋 愛之 34-821	加茂 正之 2921	織田 明彦 2921	前田 哲也 2921	三井 伸一 2921	翠 賢彦 2921	庄子 勝利 2921	竹内 秀 2921	菅原 環 2917	後藤 雅史 2921	中村 友典 2921	田邊 英樹 2921	遠藤 謙 2921
施設整備係長 主査(施設整備)		志村 伸一 34-824	山本 卓司 2925										星野 英知 2924	
草地整備係長										大手 裕人 2921			森若 慎史 2917	早川 直志 2927
主査(団体管)	鈴木 利伸 2914	山下 隆之 34-827						山崎 昭彦 2914	(欠員)			山本 祥人 2914	齋谷 猛 2914	
主査(基盤整備)	木澤 拓 2944	佐々木 広中 34-821												
主査(事業調整) 主査(施設管理)	成田 友幸 2934	今 孝宏 34-822							長田 公二 2941		市橋 謙太郎 2934	(欠員)		

# ため池管理者の皆様を支援する 北海道ため池サポートセンター

【設置者】北海道

【運営者】北海道・北海道土地改良事業団体連合会

## 《サポートセンターの支援内容》

- ①相談対応 … 農業用ため池に関する日常管理の補修、応急対策、改修、廃止、点検・管理方法や地域での管理体制づくりなどの相談に対応します。
- ②点検活動 … 現地パトロールを行い、管理状況や施設の状態を確認します。  
◆対象となるため池：管理者から点検要望のあったため池や点検が必要と判断したため池。
- ③指導活動 … 現地確認や現地パトロールの結果に基づき、適正な管理方法や補修、改修、廃止等に向けた技術的指導・助言を行います。
- ④普及啓発活動 … ため池管理者等を対象に日常管理の方法や緊急時の対応など、ため池管理に必要な技術習得に関する研修会等を行います。
- ⑤情報管理 … 道内の農業用ため池に関する情報を管理し、今後の点検・支援活動に活用します。

ため池を保安全管理するための**ご相談等**をスタッフが承ります。

- 技術的な検討を要する相談 … 改修・補修や適正な保安全管理のための技術的な相談に対応します。
- 管理体制などに関する相談 … ため池に関するお困りごとをお聞きます。

ご相談は**無料**

毎週 **月～金** 曜日

10:00～12:00 / 13:00～16:00

※祝日、休日、年末年始（12月29日～1月6日）を除く

- ◆電話または**来所**での対応とさせていただきます。来所の場合は事前にお電話をお願いします。
- ◆ご相談の際には、『**ため池の名称**』、『**ため池の所在地**』をお知らせください。

相  
談  
窓  
口

◆**技術的な検討を要する**相談はこちらです。

お近くの(総合)振興局または道庁農政部農村振興局農村整備課までお問い合わせ下さい。

担当部署	担当窓口	電話番号
道庁農政部農村振興局農村整備課	主査(農地保全)	代表 011-231-4111 (内 27-626) 直通 011-204-5425
空知総合振興局産業振興部調整課	指導企画係	代表 0126-20-0200 (内 2892) 直通 0126-20-0087
石狩振興局産業振興部整備課	主査(事業調整)	代表 011-231-4111 (内 34-827)
後志総合振興局産業振興部農村振興課	主査(農村振興)	代表 0136-23-1300 (内 2831)
胆振総合振興局産業振興部農村振興課	主査(地域計画)	代表 0143-24-9900 (内 2881) 直通 0143-24-9829
日高振興局産業振興部農村振興課	主査(農村振興)	代表 0146-22-9030 (内 2831) 直通 0146-22-9355
渡島総合振興局産業振興部農村振興課	主査(施設整備)	代表 0138-47-9400 (内 2924)
檜山振興局産業振興部農村振興課	指導企画係	直通 0139-52-6604
上川総合振興局産業振興部整備課	主査(団体営)	代表 0166-46-5900 (内 2914) 直通 0166-46-5978
留萌振興局産業振興部農村振興課	主査(施設管理)	代表 0164-42-8404 (内 2941) 直通 0164-42-8174
オホーツク総合振興局産業振興部調整課	主査(農村振興)	代表 0152-41-0603 (内 2881) 直通 0152-41-0675

◆**管理体制など**に関する相談はこちらです。

担当部署	担当窓口	電話番号
北海道土地改良事業団体連合会事業部	事業管理課	直通 011-206-8026